

今話題の「春画展」を見学。



2015 年 10 月 27 日

最近マスコミ各メディアで話題になっている「春画展」を見学。
芸術の秋、日本の伝統文化・芸術鑑賞との大義名分をかかげて…

10月24日の土曜の午後展示会場の目白の椿山荘の近くの「永青文庫」に行った所、入場待ちの長い列！最後尾でプラカードを掲げている係りの人にきくと約30分位の待ち、との事。自宅からもそれほど遠くないので引き返し、翌日25日の日曜午前中ならすいている所でユックリと「鑑賞」出来るだろうと再訪。18歳未満の入場制限は何なくクリアし会場内へ入り読みが甘かったことをしる。待ち時間こそなかったが、満員御礼！的な混みかたにオドリキ。皆が日本の文化・芸術にこれほど関心が強いとは…

当方は、いわゆるポルノやエロ写真とどこがどう違うのかを見てみたい、と出かけたのが率直なトコロ。ま、一見の価値は確かにあるとは思ったが、それほど「芸術性」が高いとは感じなかった。小生の感度の悪さのためでしょう…

それよりも会場を一回りしてわかったことは来場者は男性よりも女性のほうが多かったこと。18歳未満お断りの条件を漸く超えた年齢層から壮年・老年を含めて。男女のカップルでの鑑賞もかなりいた、更に興味を引いた光景は若い一人の女性がオペラグラスを熱心にのぞきながら鑑賞をしている姿。イヤー、正にウーマンパワーを見せつけられました。

会場の場所が少々不便な所なので、地下で護国寺で降りてタクシーで行ったが運転手さんに「永青文庫」と告げると、あー、春画展ですか？と言われた。話の流れで、訊いてみたら先週は5回位お客さんをその文庫へ案内した由。

全て女性客だったとのことも記しておきましょう。

SHUNGA

春画展

大英博物館特別出品

永青文庫



会期 / 2015年9月19日(土)

~ 12月23日(水・祝)

午前9時30分~午後8時

会場 / 永青文庫 東京都文京区目白台

世界が、先に驚いた。

2015年9月19日(土)
～12月23日(水・祝)

前期 9月19日(土)～11月1日(日)

後期 11月3日(火・祝)～12月23日(水・祝)

開館時間：午前9時30分～午後8時

※日曜日は午前9時30分～午後6時まで

※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(祝日の場合は開館)

入場料：一般1500円(1300円)※()内は前売

チケット販売：チケットぴあ／ローソンチケット／

イープラス／セブンチケット

※高齢者・学生・団体の割引はございません。

※18歳未満は入館禁止

主催：永青文庫、春画展日本開催実行委員会

特別後援：国際浮世絵学会

後援：ブリティッシュ・カウンシル、

朝日新聞社、産経新聞社

協力：ANA／TOPPAN 日本通運 Mount Position
COMITE CHAMPAGNE

交通案内：JR目白駅より都営バス新宿駅西口行き(白61)

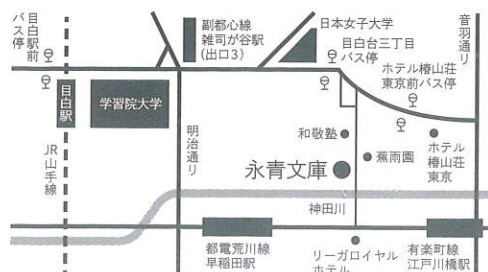
にて「ホテル椿山荘東京前」下車徒歩5分

東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」より徒歩15分

東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」より徒歩20分

当館に駐車場はございませんので、

お車でのご来館はご遠慮ください。



永青文庫 東京都文京区目白1-1-1

ハローダイヤル：03-5777-8600

http://www.eiseibunko.com/shunga/

浮世絵春画は人間の性愛を描いた浮世絵(肉筆画、版画、版本)の総称です。江戸時代を通じて制作された浮世絵春画は、2000点から3000点にのぼるとされ、大名から庶民まで貴賤を問わず、老若男女に愛好されました。人間の自然な営みである性を主題とする絵画は、古今東西にわたって広く存在しますが、その中で日本の浮世絵春画は質量共に群を抜いており、まさに世界に誇るべき美の世界を創出しています。本展は日本初の春画展として、海外は大英博物館およびデンマークから、また、日本の美術館や個人コレクションから「春画の名品」を集め、前期後期の二期に分けて展示いたします。溪斎英泉、歌川国貞、月岡雪鼎、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎など、浮世絵の大家たちによる作品のほか、徳川将軍や大名家の絵師・狩野派の肉筆作品など、幅広い展開をオリジナル作品で鑑賞できます。世界が驚嘆した「春画って凄い」を再発見してください。広く愛された春画を楽しんでいただければと思います。日本初のこの貴重な機会を是非ご堪能ください。



A



B



C



D

A. 鳥居清長「袖の巻」(部分)/柱絵横判錦絵/天明5年頃(1785)/国際日本文化研究センター蔵[後期展示] B. 喜多川歌麿「歌満くら」/大判錦絵/天明8年(1788)/個人蔵[前期展示] C. 鈴木春信「煙管」/中判錦絵/明和6年頃(1769)/個人蔵[後期展示] D. 「狐忠信と初音図」(春画屏風)/紙本着色/二曲屏風一隻/江戸時代(19世紀)/個人蔵[前期展示]

表：喜多川歌麿「ねがひの糸口」(部分)/大判錦絵/寛政11年(1799)/国際日本文化研究センター蔵[後期展示]

着物 Day 11月7日(土)・12月5日(土)

当日、着物を着て来場される方は、男女を問わず入場料が800円になります。(但し、18歳未満を除く)

講演会

ロンドン春画展の回想と
東京春画展への期待

2015年9月20日(日)

午後2時～午後3時30分

ホテル椿山荘東京

ティモシー・クラーク氏

(大英博物館学芸員)

江戸文化と春画展

2015年10月10日(土)

午前10時30分～午前12時

和敬塾大講堂(永青文庫隣り)

磯田道史氏

(静岡文化芸術大学教授)

早川聞多氏

(国際日本文化研究センター名誉教授)

春画展開催記念シンポジウム

2015年11月28日(土)午後1時～午後4時

和敬塾大講堂(永青文庫隣り)

司会進行：小林忠氏

パネリスト：早川聞多氏、木下直之氏、
山本ゆかり氏、石上阿希氏、三宅秀和氏

※講演会、シンポジウムともに往復はがきによる事前申込制です。申込み方法詳細は、ホームページでご確認ください。

永青文庫 春画展

検索